

横綱朝青龍、4場所ぶり24度目の優勝を飾る



27日、大相撲秋場所・千秋楽で横綱朝青龍が、本割で横綱白鵬に寄り切られたが、14勝1敗で迎えた優勝決戦をすくい投げで制し、4場所ぶり24度目の優勝を飾った。これは北の海と並ぶ史上3位の優勝回数である。千秋楽には鳩山総理が、朝青龍の優勝を見届けた。就任直後の新首相が千秋楽で内閣総理大臣杯を手渡すのは恒例である。首相は、初の外遊を終え前日深夜に帰国したばかりだったが、この日は幸夫人とともに国技館を訪れた。表彰式では賞状を読み上げ「今日は朝

青龍関の誕生日と伺っています。あわせておめでとうございます」と祝福した。朝青龍は「初日から千秋楽まであっという間に過ぎました。本当に全国のファンの応援のおかげで千秋楽という素晴らしい日に、素晴らしい舞台、素晴らしい総理大臣からの総理大臣杯をいただき、本当にありがとうございました」と喜びを語った。

横綱朝青龍が優勝した秋場所千秋楽の中継(NHK総合)は瞬間最高視聴率31.7%(ビデオリサーチ調べ、関東地区)をマークした。同数値は白鵬との優勝決定戦を制した午後5時47分だった。平均視聴率は23.7%だったが、朝青龍が引退危機を乗り越えて優勝した初場所千秋楽の瞬間最高視聴率は36.7%、平均27.1%だった。

モンゴル人と外国語

一般的にモンゴル人は外国語が得意なようです。確かに、観光ガイドをしている若いモンゴル人に「どれくらい日本語を勉強しているの?」と聞いて「1年ほどです」などと平然と答えられ、絶句したことが何度かあります。私がモンゴル語を学び始めたのは大学に入学してからですから、かれこれ四半世紀になります。多少モンゴル語ができて当然でしょう。

モンゴル語を勉強したことがある人ならモンゴル語の発音に苦労した経験をおもちでしょう。7つもある母音、独特なL(リ)と強い巻き舌のP(ピ)、息を強く出して喉をこするX(ヒ)など厄介な発音が盛りだくさんです。だからこそ、モンゴル人が外国語とりわけ文法が似ている日本語を学ぶのはやさしい。ただし漢字仮名混じり文の書きことばを使いこなす人はそう多くはないようです。

モンゴルの社会における外国語の地位は日本におけるそれはすこし違っているようです。昨年北京で開かれた国際会議でスピーチしてくれるようある大臣にお願いしました。ところが、晴れ舞台でモンゴル国をアピールできる絶好の機会を断ってきたのです。あとで聞えてきた事の顛末はこうです。その大臣は英語があまり得意でなかったようなのです。結局大臣の代理で出席したのは会議のテーマを専門としない英語のできる役人でした。スピーチは原稿を読めばいいことだし(読むのもきつかったのかな?)、レセプションも通訳を介すれば済む問題のように思えます。すこし前までは政治家が英語でスピーチするなど考えられなかった日本と、政治家なら2つや3つの外国語を身に付けている(レベルはわかりませんが)のが普通のモンゴルではやはり事情が違うのでしょう。

モンゴルは二大国、とりわけ20年前まではロシアの大きな影響下にあったのでロシア語ができる人は多いようです。今でも義務教育の外国語は英語と共にロシア語が選択できるようになっています。また近年中国の存在感の高まりの中で急激に広がっている漢語(中国語)学習熱は、モンゴル人がよく言い訳する「漢語のニーズの高さ」の域を超えてしまっているように見えます。わが子を小さいうちから中国に留学させて「うちの子は漢語がペラペラでしょう」と喜々としている親がいますが、ことばはその文化と切り離すことができないものです。その土地で学べば当然ながら文化の強い影響を受けることになります。20歳を過ぎてから留学した私でさえモンゴル文化の強い影響を受けました。小さな子供がどれほどの影響を受けるかは想像にたくありません。表面的に見えやすく即断しやすい両国の経済発展の差も大きい。それらのことを軽く考えすぎているのではないのでしょうか。

モンゴル語がすこし話せるようになった頃、歴史学や国際協力に携わる研究者から「モンゴル語がペラペラ話せても仕方ないよ」とよく言われたものです。歴史学では古文書さえ読めれば良く、国際協力の世界では英語が公用語なので、モンゴル語(口語)は「要らない」そうです。また一時期仕事がなくなって生活が苦しくなり、モンゴル語を選んだ自分を呪ったものです。ただ今はモンゴル語を生かして仕事ができていること、それ以上にモンゴル語を介してモンゴル人から生きていく道が一本ではないことを教えられたこともあって、モンゴル語を勉強してよかったと思えるようになりました。やはり人生に無駄なことはないのです。

外国語を専攻した皆さん、ことばだけで生きる道は限られています。ことば以外の専門(ことばを介して活かせる専門ならベストです)についてもすこし考えてみて下さい。それと共にことばの先限りなく広がる文化の存在も忘れないで下さいね。

さて、私自身はモンゴル語以外にどんな専門を身に付けようかな。(内田敦之)

「2009モンゴル音楽祭IN両国」開催

11月5日18:30、両国江戸東京博物館のホールで「2009モンゴル音楽祭IN両国」が開催される。これはモンゴル日本文化交流取極め35周年を記念し、モンゴル音楽祭実行委員会(創樹社)の主催、産経新聞社、在日モンゴル大使館、衆議院日本モンゴル友好議員連盟の後援で、国立馬頭琴交響楽団をはじめ、日本国内で活躍する伝統音楽家を中心となって開催される。

問い合わせ先 創樹社 03-3499-0217

ホームページ <http://tokyo.cool.ne.jp/mongol/>

穀物の20%を収穫済み

全国収穫実行委員会は9月28日現在の収穫量を集計した。全国で25万5536㌔の農地に穀物を栽培、直接収穫したのは3万1436㌔、等級による収穫は6万2161㌔、脱穀2万1814㌔、全体的に収穫した敷地は5万3250㌔であり、収穫率は20.8%。1㌔から1550㌔、余の穀物を収穫した。

ジャガイモは収穫した農地の1万377㌔からは11万845.3㌔を収穫し、収穫率は76.2%、他の野菜は4658.1㌔から5万6201.1㌔を収穫し、71.3%である。1㌔からの収穫量は1万2070㌔である。



週間天気予報(9月30日~10月5日)



9月30日 東部県の一部、10月1日 東部各県の一部、3日 東部各県、4日 西部県や東部県、5日 東部県の一部に降雨、山岳地帯では雪に変わる。風速はゴビ地帯で12~14m/s。ハンガイ・ヘンティ・フブスグルの山岳地帯で夜間4~9度、日中3~8度、ゴビ地帯で夜間4~9度、日中15~20度、その他の地域で夜間0~5度、日中8~13度の予報である。

<新コーナー>今週の専門用語

購買力 (こうばいりょく)
最低賃金 (さいていちんぎん)
実質収入 (じっしつしゅうにゅう)
事務局長、書記長 (じむきょくちょう、しよきちょう)
都市整備 (としせいび)
保険、健康 (ほけん、けんこう)
モンゴル中央情報局(ちゅうおうじょうほうきょく)
有権者、選挙人 (ゆうけんしや、せんきよにん)
行政監理庁 (ぎょうせいかんりちよう)

-хуудалдан авах чадвар
-цалингийн доод хэмжээ
-бодит орлого
-нарийн бичгийн дарга
-хот тохижилт
-эрүүл мэнд
-Тагнуулын Ерөнхий газар
-бэлчээрийн даац
-Мэргэжлийн хяналтын газар

(内田敦之)

モンゴル銀行の為替レート (2009年10月02日)

円	15.50
米ドル	1420.65
ユーロ	2099.51
ルーブル	47.04
元	208.11
ウォン	1.18